

# 東海道を往く

# —その6—

2011年1月29日(土) & 30日(日)

集 合：横浜通過7時の沼津行き列車最後尾の車両 川崎から横浜、戸塚、…小田原、三島から其々乗車

コース：29日 興津宿(9:25発)―興津宿公園―清見寺―江尻宿/稚児橋―追分―草薙―里塚(43)―長沼―里塚(44)―府中宿/駿府城跡―石部屋―安倍川の宿/BHあべ川(16:15着)  
30日 宿(7:30発)―丸子宿/丁子屋―宇津の谷峠/御羽織屋―岡部宿/本陣公園―藤枝宿/大慶寺―勝草橋/志田―里塚(50)―藤枝駅(15:30着)

距 離：29日：31,000歩(22km) 30日：36,000歩(26km)

参加者：リーダー田村、 サブリーダー仲、熊坂 以下総勢17名 レポート：写真・文 田村 編集 大平

沼津乗換え、浜松行きに全員が揃ったところで、9時過ぎ興津駅着。駅前でストレッチをしてスタートです。何故か、このシリーズはメンバーの日頃の行いが良いのか、天候に恵まれています。今回も2日間とも絶好のウォーキング日和です。初日は、清水・静岡を經由し安倍川へ。夕食はバスで丸子の丁子屋でとろろ汁。安倍川橋のBHで一泊。翌日明け方は超寒い。やはり1月、北陸、東北は大雪です。丸子宿を経て宇津の谷峠に抜ける。昭和・平成のトンネルをやり過ごし明治のトンネルを目指す。お羽織屋、十団子の話を聞いてしばしのハイキング。岡部宿を通りサッカーと松の街 藤枝宿へ。快調なペースでスケジュール通りに進み、ゴールの藤枝駅に着いたのは予定より1時間近く早い。次回(3月)は、ここからスタートです。



お早うございます。



今日も宜しくお願いします。



沼津で新幹線の仲さんと合流し、全員が揃いました



前回ゴールの集合写真を撮った興津駅前



駅前の公園で出発の準備



一寸寒いが、ウォームアップストレッチ



1班(女性班)の8名、リーダーは熊坂さんです



2班(男性班)の9名、リーダーは仲さんです



最初の立ち寄り地、清見寺(1) 目の前は駿河湾です



清見寺 (2)



清見寺 (3)



清見寺 (4)



清見寺 (5)



細井の松原 貧相な松の木が1本だけ



清水駅傍妙蓮寺 一寸トイレ拝借



昼食 (1) 稚児橋手前の稲荷神社公園を拝借



昼食 (2) 朝早かったから腹減った+



昼食 (3)



昼食 (4)



昼食 (5)



石川さんの人気の「手作り作品」披露



ここは「少年サッカーの発祥の地」？だそうです



少年サッカーチームの監督のOB



稚児橋（女の子のカップ）での女性陣



稚児橋（男の子のカップ）での男性陣



静岡駅付近ののJRの下を抜けます



静鉄沿いに進みます



静岡の銀座通りです。



城門から中へ



駿府城跡のお堀端



駿府公園、家康像の前で全員の記念写真





平山さんはここまで、



あべかわ餅ご馳走様 (1)



あべかわ餅ご馳走様 (2)



あべかわ餅ご馳走様 (3)



丸子宿「丁子屋」の前で



夕食 とろろ汁 (1)



夕食 とろろ汁 (2)



夕食 とろろ汁 (3) 神谷副会長のご挨拶



夕食 とろろ汁 (4) 神谷副会長の発声で「乾杯！」

丁子屋の展示室（東海道の資料、十辺舎一九の像等々）にて 十四代目店主を囲んで



ホテルの窓から安倍川橋を眺める



向こうに見えるのが安倍川を横切る国道1号線



朝食、「サッカー、オーストラリアに勝ったんだって」



出発前のひと時



安倍川橋を渡る（1）



安倍川橋を渡る（2） 「うー、サミー」



安倍川橋を渡る（3）後に世話になったBHが見えます



安倍川橋を渡る（4）



安倍川橋を渡り切りました。「おいうしろ、見てみる！」



「うわー」富士山が撮っても綺麗に見えました



元気に歩き始めます



コンビニで食糧の補給



道を間違え 15 分後に舞い戻ってきます。スリヤ! 田村がっかりでした前にすすんでいただけませんでした (O) ぼやき



我らがアイドル「テッシー」



丸子宿 丁子屋前 第 1 班



開店前なのに暖簾と提灯を用意してくれました  
なんてここまでと都会人は思います (O)



気持ち良く歩きます



丸子紅茶の商い中?  
「蔦の細道」東側の  
登り口です。



でも寒いからフードは必要です





これから宇津の谷峠に向かいます



向うに見えるのが「昭和のトンネル」「平成のトンネル」



御羽織屋 (1) 話すのは 92 歳の弁士



御羽織屋 (2) 秀吉の羽織？



御羽織屋 (3)



(4)



御羽織屋 (5) 蜜柑をご馳走になりました

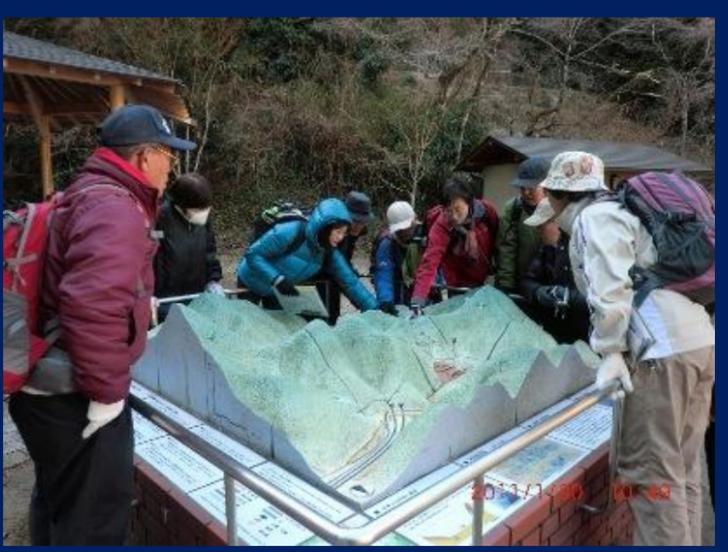


御羽織屋 (6) 十団子もお土産にどうぞ



2011/1/30 10:47

赤レンガ造りの  
明治の  
「明治の  
赤レンガ造り」



其々のトンネルはどこに抜けるのかしら？



後が間の宿 宇津の谷の集落です



しばしのハイキング (1) 昔の東海道を歩く感じです (3)



(4)



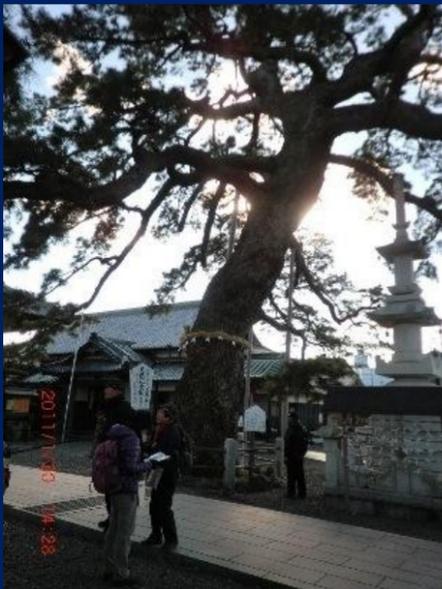
(5)



道の駅「宇津の谷峠」(国道1号上り線側) 昼食場所



岡部宿本陣公園 (1)



岡部宿本陣公園 (2)



岡部宿本陣公園 (3)



岡部宿本陣公園 (4)



五智如来像前 (1)



五智如来像前 (2) ガイドを捕まえました



五智如来像前 (3) 話し好きのガイドさんでした。



岡部宿は松林が残っていました (1)



松林 (2)



松林 (3)



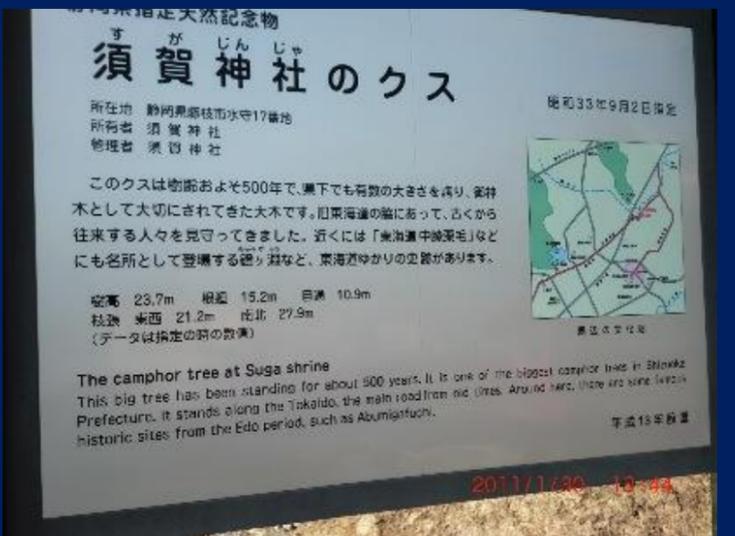
岡部宿の西のはずれ



八幡橋/葉梨川 (1)



葉梨川 (2)



須賀神社のクス (1)



須賀神社のクス (2)



須賀神社の大クス (3)



藤枝宿/大慶寺の久遠の松 (1) 県指定天然記念物



藤枝宿/大慶寺の久遠の松 (2)



藤枝宿/大慶寺 (3)



藤枝宿/正定寺の本願の松 (1) 市指定天然記念物



藤枝宿/正定寺の本願の松 (2)



藤枝宿/正定寺の本願の松 (3)



瀬戸川公園 (1) 勝草橋を渡りました



瀬戸川公園 (2) 志田一里塚/日本橋から 50 番目です  
東海道を往く (その 6) もこのようにして終焉を迎えました。今回は、時間の面からも安全の面からも、全員計画通り完歩出来ました。皆さんとても元気で若々しく素敵でした。さて次回ですが、3月26日 (土) 及び 27日 (日) の予定です。行きも帰りもJR利用です。往路は今回と同様 7時横浜通過の沼津行きの後尾の車両に集合です。藤枝から島田宿 (島田鬚、刀鍛冶、帯まつり) を通りいよいよ大井川を渡ります。金谷宿で一泊し、小夜の中山から日坂宿を抜け掛川宿に入ります。ここでは山内一豊築城の掛川城によってみませんか。暫く行くと全光寺 (仲道寺) でここが東海道の中間地点です。健脚と言っても短めですが、益々面白くなる東海道是非 皆さんご一緒しませんか。<田村>



藤枝駅で帰りの電車 (15:39 発) を待ちます

東海道を往く その7 2011年3月26-27日 ウォーキングスケジュール						
	チェックポイント	到着	出発	WC	備考	写真
7-1	藤枝駅	10:01	10:10	○		藤枝駅集合
26日(土)	(立寄)・経由ポイント	青木交差点→				
	東泉寺跡	10:30	10:45		ストレッチ	
	(立寄)・経由ポイント	六地藏堂→東海道追分→(千貫堤・瀬戸染飯伝承館)→上青島一里塚跡51→				
	六合駅	12:00	12:30	○	八幡神社 昼食	
	(立寄)・経由ポイント	→板山橋/大津谷川→島田宿一里塚52→刀匠島田顕彰碑→如舟・芭蕉連句碑→本陣跡→				
	島田宿本陣跡	13:15	11:15		からくり時計	島田宿集合
	(立寄)・経由ポイント	清水屋/小饅頭→大井神社/島田大祭帯まつり→大善寺/梵鐘→島田宿大井川越遺跡→川会所→朝顔の松公園→				
	島田市博物館	14:30	15:15	○	川越で賑わった江戸時代後期の大井川、島田宿の様子を紹介	
	(立寄)・経由ポイント	大井川橋/1km→(東町公園○)→宅円庵・日本左衛門首塚→秋葉神社→				
	金谷宿本陣	16:00			佐藤本陣/現在本屋 向いが数少ない酒屋	金谷宿集合
	(立寄)・経由ポイント	金谷一里塚跡53→長光寺/芭蕉句碑→石畳茶屋→				
	金谷宿/百楽園	16:30		○		
	(¥)					
	① 島田宿は、刀鍛冶(室町から江戸の四百年の歴史)、帯まつり(嫁いだ女性/島田髷が大井神社の氏子となって安産祈願)、大井川の川越えや川止め等々で大いににぎわった。					
	② 近世東海道で川越の渡渉制度は、最大の難所である大井川の他に酒匂川、興津川、庵原川、安倍川、朝比奈川、瀬戸川、松野大川、長沢川の全部で9ヶ所あった。					
7-2	金谷宿/百楽園	8:00	8:15	○	7:00から朝食です 8時には出発の用意をして宿前に集合して下さい。宿前でストレッチ、集合写真	宿前集合
27日(日)	(立寄)・経由ポイント	→石畳茶屋→金谷坂の石畳/平成の石畳→六角堂地藏尊/すべらず地藏尊→(諏訪原神社)→菊川坂→間の宿 菊川の里→急な上り坂/この辺りから一面の茶畑が続く→				
	久延寺	9:30	9:40	○	小夜の中山夜泣き石、家康手植えの御用松、茶亭跡、子育て飴を売る茶屋	
	(立寄)・経由ポイント	→西行法師の歌碑→小夜の中山公園→小夜鹿一里塚56→鎧塚→涼み松/芭蕉句碑→夜泣石跡/「小夜の中山峠」広重絵碑→日坂宿本陣跡→				
	日坂宿/川坂屋	10:30	10:10	○	寛政年間(1800年頃)に始められた旅籠屋で山岡鉄舟、西郷従道も利用	日坂宿集合
	(立寄)・経由ポイント	→日坂宿の高札場→下木戸跡→事任八幡宮/807年 坂上田村麻呂東征の際、桓武天皇の勅を奉ず、天然記念物:大杉、日本一の大笛→				
	道の駅「掛川」	11:30	12:00	○	昼食	
	(立寄)・経由ポイント	→伊達方一里塚57→六地藏/白子観音→馬頭観音→馬頭観音→馬喰橋/逆川(さかがわ)→葛川(くずかわ)→一里塚58→新町・七曲がり→				
	掛川城天守閣	13:40	14:10	○	掛川城御殿(@ ¥300)	掛川宿集合
	(立寄)・経由ポイント	→円満寺→十九首塚/平将門→逆川橋→大池一里塚跡59→				
	善光寺/仲道寺	15:50			距離的に東海道の真ん中	
	(立寄)・経由ポイント	→間の宿/原川松並木→金西寺→				
	愛野駅	16:30	16:44	○	駅前ストレッチ	愛野駅集合
	(¥)					
	① 諏訪原城は武田・徳川両氏の弘法の舞台。武田信玄が築城に着手、その子勝頼が1573年に完成させたが、2年後の長篠の合戦後に徳川が攻略し、牧野城と改称。国指定史跡					
	② 1600年掛川城主山内一豊が久延寺に茶亭を設け大阪から会津の上杉景勝攻めに向かう徳川家康をもてなした。関ヶ原の合戦の後、山内一豊は功績を認められ、土佐二十万石に栄転。					
	③ 掛川城は、最初今川氏の重臣朝比奈氏により築城。1590年豊臣系大名山内一豊が五万石で入部、城下町として発展。二ノ丸御殿は国宝二条城に次ぐ城郭御殿として国の重要文化財に指定。					
注1	公式距離は、初日(藤枝駅→金谷宿)は15km(歩幅65cmで23,000歩)、二日目(金谷宿→愛野駅)は21.4km(同33,000歩)ですが、+α(1割程度)が考えられます。					
注2	チェックポイントは10分を目処に見学、トイレ、給水、歩数の記録等を行います。(立寄)ポイントは3~5分を目処に見学、給水を行います。経由ポイントは歩きながら見学します。					
	体調に異変が起こった時、上記以外の見所に寄りたい場合、ゆっくり見学がしたい時(時間が欲しい時)は、早めにGL(L、SL)に声を掛けて下さい。					
注3	集合写真は、班毎に撮影します。					